

ふりがな 氏名	みつい しゅんすけ	都道府県	岩手県	
	三井 俊介			
所属/肩書	特定非営利活動法人 SET / 理事長			
私の ESD活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地滞在型ソーシャルイノベーション創出事業 ・ 雇用創出事業 			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

2011年3月11日に発生した東日本大震災、当時東京在住で大学3年生だった私は、3月13日に復興支援団体 SET を設立し、被災地支援活動を開始した。あるご縁から岩手県陸前高田市広田町に現地入りし、大学在学中も月に一度のペースで通い、ボランティア活動を行っていた。より深く活動を行う事を決心し、2012年3月に大学を卒業後、4月には単身陸前高田市へと移住した。現在では移住して1年半がたち、NPO 法人化し、さらなる事業展開を進めている。

現在は、外部から若者を呼び込み、現地で課題解決を行う「現地滞在型ソーシャルイノベーション創出事業」と、そのイノベーションをベースにして、現地で今まで無かった仕事を創っていく「雇用創出事業」の2本柱で動いている。

「現地滞在型ソーシャルイノベーション創出事業」では「Change Maker Program」を開発した。これは、外部者の若者と、地元の年配の方々が一緒に課題解決に向けて行動するプログラムだ。ビジネスコーチングプロセスを基本として、リーダーシップ開発プログラムを実施しており、参加者本人の成長と町への貢献を最大化させる。

【実績・成果】

2013年春に、関東圏の大学生7名を対象に実地した。

その結果、実際に参加者は視点や思考フレームが変わり、プログラム前は「目的(上流概念)から整理して、行動に結びつけていくことが難しかったが、プログラム終了後は、まず目的を定め、それを実行するためという思考法に変化した。

また、プログラム終了後の行動に明らかな変容がみられた。プログラム最終日には、広田町で報告会を行ったが、地元の方から「俺たちが変わらないといけないんだ。皆が変わっていく姿をみて、その勇気をもらった。」と、言って頂いた。この実績を基に、本年8月より、1週間滞在型の「Study Program」に加え、3週間滞在型の「Summer Internship」も実行した。

・特定非営利活動法人 SET: <http://set-forjapan.jimdo.com/活動レポート/現地組活動レポート/change-maker-program/>

・浜野菜: <http://www.hamayasai.com>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

今後の社会を見据え、どのような人材が本当に必要とされてくるのかを考え、自身よりもさらに下の代へと伝えていくこと。

また若者である自分自身が常に変化を恐れずに、柔軟に対応していくこと。